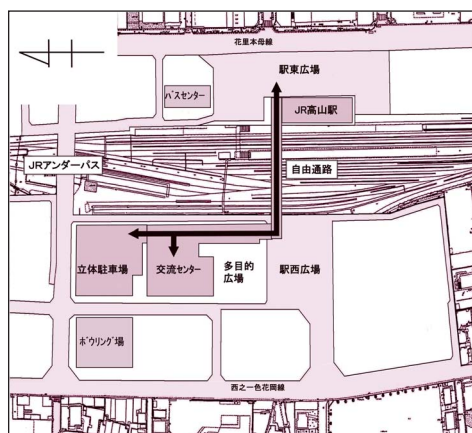


総合交流センター あなたはどうか考える？

市では高山駅西地区に総合交流センターの整備を計画しています。この計画はすでに市民のみなさんに内容をお知らせし、意見募集を行いました。しかし今一度立ち止まって、より多くの市民のみなさんの意見を募集するため、今回再度計画内容をお知らせするものです。総合交流センターの整備、あなたならどう考えますか？

総合交流センターの完成イメージ



総合交流センターの位置図

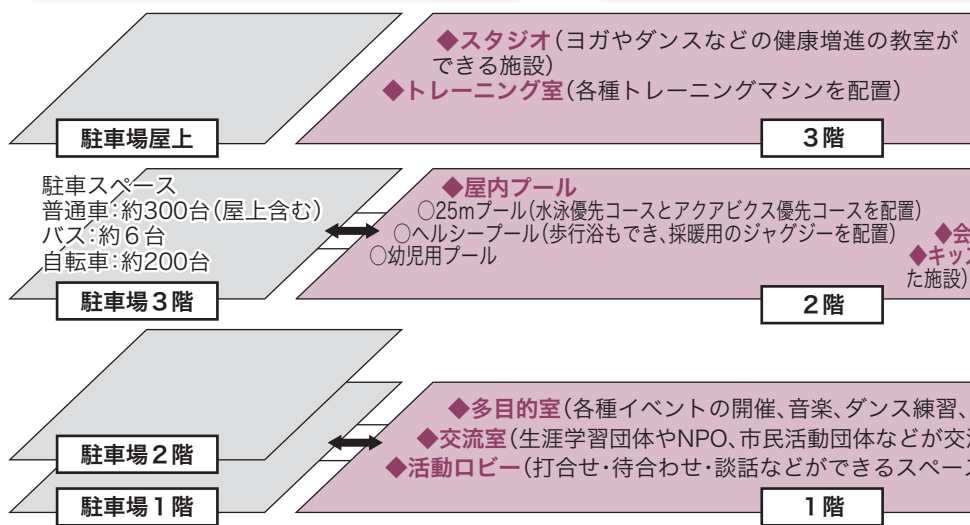
総合交流センターの平面図につきましては7月15日号「広報たかやま」、または市ホームページ・各閲覧場所でご覧ください。

施設の特徴その①

今後整備を予定している自由通路と交流センター・駐車場をつなげることで、公共交通機関や駅東側からの利用者などの利便向上を図ります。

施設の特徴その②

大量の化石燃料を使用する従来の施設ではなく、地中熱エネルギーを活用しCO₂排出量や光熱水費の抑制を図ります。



【事業費などの概算額】 建設費約31億円

◆総合交流センター約23億円(交流施設部分約13億円・健康増進施設部分約10億円) ◆多
※建設費は、高山市のまちづくりのために積み立ててきた基金と国の補助金を充てる予定です。

●高山駅周辺の整備イメージ

飛騨地域の玄関口にふさわしい都市空間の整備と中心市街地のにぎわいを目的に高山駅周辺整備を行っています。これまでポップ公園、JRアンダーパスなどの整備を行いました。今回、駅西地区の公有地(約8,600㎡)に、市民活動の支援や情報発信の拠点となる交流センター、立体駐車場、多目的広場(屋外広場)を計画しています。これらの施設の整備により市民や観光客が交流を通して、市全体が元気になれるような施設づくりを目指しています。

●市民活動の支援

ボランティアやNPOなどの市民団体が自由に使える場所を整備し、市民活動を支援したいと考えています。

●市民文化会館や福祉センターの補完施設

稼働率が高い市民文化会館や福祉センターを補完する役割を持たせたいと考えています。

●公共交通機関利用者の待合場所

JRや路線バスなどの公共交通を利用する観光客や通勤・通学の方が休憩などができるスペースが必要と考えています。

●市域全体の情報発信の場所に

各地域の伝統文化や特産品などの情報を提供す

ることで、その地域を訪れるきっかけづくりが必要と考えています。

●イベントが開催できる場所に

コンサートやフリーマーケット、農産物などの物販や飲食を伴うイベントなどができる場所をつくり、中心市街地のにぎわいの創出や、新たな高山市の一面を知っていただくことが必要と考えています。

●若者や子育て世代の活動の場所に

音楽やダンスの練習ができるなど若者が活動しやすい場所や、子育て世代が集まりやすい場所を整備することで、中心市街地の活性化につながると思っています。